

通話オプションを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.72
	お留守番サービス (ボイスメール含む)	P.98
	着信転送サービス	P.104
	割込通話サービス	P.107
	発信番号表示サービス	P.109
	番号通知リクエストサービス	P.110
	データ通信サービス	P.87
有料オプション サービス*	三者通話サービス	P.108
	迷惑電話撃退サービス	P.111
	通話明細分計サービス	P.113

* 有料オプションサービスは、別途で契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、電話機能をオフにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.104)は同時に開始できません。
お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.110)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで*1
お預かりできる件数	20件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.100)の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

■ お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音/確認/変更)、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、伝言お知らせの選択/変更、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 通話ボタンを押す

2 電話画面で **1** **4** **1** をタップ→通話ボタンを押す

3 ガイダンスに従って操作

■ お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話も転送する場合(留守番開始1)

1 電話画面で **1** **4** **1** **1** をタップ→通話ボタンを押す

- ・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守番開始1]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

■ 通話中にかかってきた電話は転送しない場合(留守番開始2)

1 電話画面で **1** **4** **1** **3** をタップ→通話ボタンを押す

- ・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守番開始2]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- ・電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間(約20秒間)呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- ・通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)
- ・着信中に[着信転送]をタップした場合(選択転送)



- お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきて、着信音が鳴っている間(約20秒間)は電話に出ることができます。
- エリア設定を[海外]に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。
- エリア設定を[海外]に設定している場合は、選択転送ができません。

■ お留守番サービスを停止する

1 電話画面で **1** **4** **1** **0** をタップ→通話ボタンを押す

- ・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守番停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す



- お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
- お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、E30HTのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.101「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は **#** を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作 **2** に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、**#** を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作 **3** へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 **#** をタップして録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

- 1** : 録音した伝言を再生して、内容を確認する
- 2** : 録音した伝言を「至急扱い」にする
- 9** : 録音した伝言を消去して、取り消す
- *** : 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 終了ボタンを押す



- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 電話画面で **1** **6** **1** **2** +相手の方のau電話番号を入力→通話ボタンを押す

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Gメールの受信トレイに保存されます。伝言お知らせには、伝言・ボイスメールの未聴/総件数のみをお知らせする「発番情報なし」と、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」の2種類があります。

memo

- 「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間です。
- それぞれ保持件数は次の通りです。
発番情報なし: 1件
発番情報あり: 20件
- ご契約時は、「発番情報あり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内(▶P.99)で「発番情報なし」に設定を変更できます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを、着信お知らせで通知します。

着信お知らせは、Cメールの受信トレイに保存されます。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo










- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合もお知らせしません。
- 着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
- ご契約時は、「着信お知らせあり」に設定されていますが、お留守番サービス総合案内(▶P.99)で「着信お知らせなし」に設定を変更できます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 電話画面で をタップ→通話ボタンを押す

- ・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[留守伝言再生]をタップしても操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

-  : 同じ伝言をもう一度聞く
-  : 伝言を保存
-  : 5秒間巻き戻して聞き直す
-  : 伝言を一時停止(20秒間)*
-  : 5秒間早送りして聞く
-  : 伝言を消去
-  : 伝言再生中の操作方法を聞く
-  : 次の伝言を聞く
-  : 前の伝言を聞く

* 終了ボタン以外のボタンを押すと、伝言の再生を再開します。

3 終了ボタンを押す

memo

- お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.100)も同じものとして扱われます。
- 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

現在設定されている応答メッセージの内容を録音/確認/変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。




1 電話画面で をタップ→通話ボタンを押す

- ・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[応答内容変更]をタップしても操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2 をタップ→3分以内で応答メッセージを録音→ → をタップ→終了ボタンを押す




- 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合

2  をタップ→10秒以内で名前を録音→  →  をタップ→終了ボタンを押す

- 設定されている応答メッセージを確認する場合



2  をタップ→応答メッセージを確認→終了ボタンを押す

- 蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音する場合

2  をタップ→3分以内で応答メッセージを録音→  →  をタップ→終了ボタンを押す



memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って  をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って  をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。(▶P.101「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)

1 電話画面で  をタップ→通話ボタンを押す

2 終了ボタンを押す



memo

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 電話画面で  をタップ→通話ボタンを押す

2 ガイダンスを確認後、終了ボタンを押す



memo

- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のE30HT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411/1413

サービス内容	番号
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のE30HTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.14)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作



- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 電話画面で をタップ→通話ボタンを押す

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[英語ガイダンス]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- ◎ 「エリア設定」を「海外」に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 電話画面で をタップ→通話ボタンを押す

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされません。

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[留守番サービス]→[日本語ガイダンス]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ エリア設定を「海外」に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。



- ◎ 緊急電話(110/119/118)、時報/天気予報(117/177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.98)は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.110)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
① 話中転送 ② 選択転送 ③ 無応答転送
- ◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始 「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からE30HTまでの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
E30HTから転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通話事業者からのご請求となります。

■ 応答できない電話を転送する(無応答転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなど、かかってくる電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 電話画面で **1** **4** **2** **2** をタップ+転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- ・ あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておく、着信転送サービス画面で[無応答転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には **1** **4** **2** **1** **2** をタップ→通話ボタンで設定できます。
- ◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間(約20秒間)は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 電話画面で **1 4 2 3** をタップ+転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておく、着信転送サービス画面で[話中転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、**1 4 2 1 3** をタップ→通話ボタンで設定できます。
- ◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.107)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 電話画面で **1 4 2 4** をタップ+転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておく、着信転送サービス画面で[フル転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、**1 4 2 1 4** をタップ→通話ボタンで設定できます。
- ◎ フル転送を設定している場合は、お客様のE30HTは呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 電話画面で **1 4 2 5** をタップ+転送先電話番号を入力→通話ボタンを押す

- あらかじめ[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送先登録]をタップし、転送先電話番号を登録しておく、着信転送サービス画面で[選択転送]をタップするだけで操作できます。

2 終了ボタンを押す



- ◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、**1 4 2 1 5** をタップ→通話ボタンで設定できます。
- ◎ 着信中に[着信転送]をタップすると、転送先電話番号に転送します。
- ◎ エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

KDDI(001)の国際電話サービスをお申し込みになれば、海外の電話に転送できます。

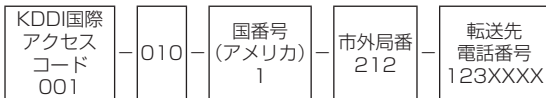
例: アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 転送の種類によって、それぞれの番号を入力→通話ボタンを押す

- 1 4 2 2** : 無応答転送 **1 4 2 4** : フル転送
1 4 2 3 : 話中転送 **1 4 2 5** : 選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号をKDDI国際アクセスコードから入力します。



3 終了ボタンを押す

KDDI国際電話サービスについてのお申し込み・お問い合わせ先
一般電話・au電話から

☎0077-7160(通話料無料)

受付時間 9:00~20:00、土日祝も受付



◎KDDI以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。また、au国際電話サービス(005345)での転送はご利用いただけません。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 電話画面で **1 4 2 0** をタップ→通話ボタンを押す

・[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[着信転送サービス]→[転送停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

着信転送サービスを遠隔操作する (遠隔操作サービス)

お客様のE30HT以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のE30HTの電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.14)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作



- ◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。
- Packet通信ご利用の際などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 電話画面で **1 4 5 1** をタップ→通話ボタンを押す

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[割込通話サービス]→[起動]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

memo

- 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.110)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.111)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- エリア設定[海外]に設定している場合はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 電話画面で **1 4 5 0** をタップ→通話ボタンを押す

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[割込通話サービス]→[停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

memo

- 割込通話サービスを「停止」に設定しても、Packet通信にしばらくデータのやりとりにない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
- 「最大3.1Mbpsエリア」でPacket通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。
- エリア設定を[海外]に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

■ Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 通話ボタンを押す

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
通話ボタンを押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
終了ボタンを押すと、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

- ◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 電話画面で +相手先電話番号を入力 →通話ボタンを押す

memo

- ◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になりません。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する (オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

■ Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に連絡先アイコンをタップすると、連絡先から電話番号を呼び出せます。

2 通話ボタンを押す

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、通話ボタンを2回押すとAさんとの通話に戻ります。

4 通話ボタンを押す

3人で通話できます。
通話ボタンを押すと、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
終了ボタンを押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

- ◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のおお客様でも割り込みはできません。
- ◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する (標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のE30HTのタッチスクリーンに表示されるサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。



memo

- 発信者番号 (E30HTの電話番号) はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに相手の方の電話番号が、E30HTのタッチスクリーンに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がタッチスクリーンに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する (標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えるサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.98)、着信転送サービス(▶P.104)、割込通話サービス(▶P.107)、三者通話サービス(▶P.108)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.111)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 電話画面で     をタップ→通話ボタンを押す

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[番号通知リクエストサービス]→[サービス起動]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直してください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- ◎ エリア設定を[海外]に設定している場合や、次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ Cメール
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 電話画面で **1** **4** **8** **0+** をタップ→通話ボタンを押す

- ・ [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[通話オプション]→[番号通知リクエストサービス]→[サービス停止]をタップしても操作できます。

2 終了ボタンを押す

迷惑電話撃退サービスを利用する (オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

- ◎ お留守番サービス(▶P.98)、着信転送サービス(▶P.104)、割込通話サービス(▶P.107)、三者通話サービス(▶P.108)、番号通知リクエストサービス(▶P.110)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 電話画面で **1** **4** **4** **2** をタップ→通話ボタンを押す

2 終了ボタンを押す

memo

- ◎ 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
- ◎ エリア設定を[海外]に設定している場合や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
 - ・ 警察、消防機関、海上保安本部
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ Cメール
- ◎ 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
- ◎ 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 国際ローミング中には、受信拒否リストの登録／削除できません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ Cメール
 - ・ 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

- 1 電話画面で     をタップ→通話ボタンを押す
- 2 終了ボタンを押す

memo

- ◎ 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

- 1 電話画面で     をタップ→通話ボタンを押す
- 2 終了ボタンを押す

通話明細分計サービスを利用する (オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 電話画面で **1 3 1** をタップ+相手先電話番号を入力→通話ボタンを押す

memo

- ◎ 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186/184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ フリーダイヤル、110、119、118などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。